

詳しいお問い合わせは、
中村まで 03-3252-5388

視覚障害の方が外食の際に思いもよらない不自由な思いをしています！

北九州だけでも3000～4000人の視覚障害者の方がいます。視覚障害者の方が外食に行く際、「点字・拡大文字メニュー」が無いため自分で料理を選べない、値段が分からない等の問題に直面しております。その為、自由に外食に行けないという健常者の方には思いもよらない悩みを抱えて途方にくれています。

なぜ、このような事が起きているのでしょうか？これらの問題は今始まった訳ではありません。近年、徐々に施設のバリアフリー化が進み視覚障害者の方の敷居が低くなり徐々に障害を持たれる方も社会進出をはたす様になって来ました。しかし、まだまだ問題は山積みです。その1つとして、この問題が世間一般的に知られていないのと同じように飲食店経営者の方も視覚障害者の方達の問題を知らないからなのです。例えば喫茶店で注文する場合、どんなメニューがあるか分からない、注文したメニューがもしお店に置いていなかったら・・・恥ずかしい思いをしてしまう。その為、どこにでもある「ブレンド」としか頼めないのです。それらの問題を解決すべく飲食店経営者の方にお手紙をお配りして理解を深めてもらう「点字・拡大文字メニュー導入普及運動」を広げています。

視覚障害者の方が「点字・拡大文字メニューを入れられているお店が少ない」との問題を重く受け止め私たちは普及運動に力を入れています。「点字・拡大文字メニュー導入普及運動」を展開し一人でも多くの方が楽しい食事の時間を過ごしてもらおうと運動を広めています。また、点字メニュー製作は北九州視覚障害福祉協会の会員とボランティアの方が製作材料実費のみで協力していただいています。

■ ご担当者の方へ

市民をサポートする役所の食堂ですら導入されているところが少ないのが現状です。

自由に外食に行きたくても行けない人が大勢います。外食に行く際に自由にメニューを選べない人を無くすために是非ご協力ください。

取材の依頼は、北九州市視覚障害者福祉協会 代表名：木下 稔充 TEL 093-771-1504

または、(株)ウィニングエッジ 中村（電話 03-3252-5388）まで。

尚、(株)ウィニングエッジは北九州から東京へ移転しましたが、北九州の飲食店様に限らず点字メニューにご協力いただける全国の皆様方からのお問合せがある場合も喜んでご対応させていただきます。